

青森放送

活動名	小学生社内見学
実施期間	令和6年9月～令和6年12月
実施回数	社内見学6回

【実施学校】

青森県立黒石養護学校、つがる市立車力小学校、藤崎町立藤崎小学校、青森市立本郷小学校、中泊町立小泊小学校、五所川原市立いずみ小学校

【事業実施の成果・課題】

- ・「ニュースができるまで」のDVD視聴により、これまで写真パネルで説明していた放送現場の仕事や役割を、よりわかりやすく受け止めてもらえることを確認できました。
 - ・メディアリテラシーで大切にしたいポイント「正しい情報選択」について、防災にも絡めて【自助】の重要性を伝えたことにより【自分の努力で自分を守る】意識の芽生えにつながったことを、先生方や児童から寄せられた感想で実感できたのが成果です。
 - ・業界を揺るがすハラスメント事案により放送局全体が疑念を抱かれています。改めてDVD収録内容の精査が必要ではないでしょうか。架空の設定とはいえ、放送現場での言動や会話からパワハラ等と受けとめかねない部分も少なくないと感じます。「放送局は旧態依然としているイメージ」だという擦り込みになるのではないかと懸念されます。
- ※教育現場では人の呼び捨てをしないよう配慮しているようです。（「～さん」付け等）
※視聴時の反応も、「萎縮している」児童と、「楽しんでいる」児童とに分かれました。

【事業担当者・講師の感想】

- ・防災士アナウンサーの防災ミニ講座や教科書の読み聞かせは児童たちの興味を惹き、メディアリテラシー教育の一助になったと思います。また、テレビ・ラジオの面白さを体感している様子を実感できたのが非常に有意義でした。
- ・約20分のDVD視聴時間が、小学生には長いのではないのでしょうか。3パートに大別できる内容なので状況に応じて内容を選択・時間調整ができれば視聴が可能になる学校も増えると感じました。（弊社は社内見学時にDVD視聴を実施しているため）

【教諭・子どもたち・視聴者などの感想】

＜先生方の感想＞

- ・情報産業に携わる皆様の熱い思いや願いに直接触れることができ、大変有意義でした。
- ・スタジオ見学やDVD視聴を通してテレビ番組が出来上がる過程や約束事、携わる方々の様々な仕事内容について知り、多くの学びを得ることができました。

＜児童の感想＞

- ・僕は「熱血太郎」のVTRが面白かったです。テレビのお仕事が分かりました。
- ・早口言葉が楽しかったです。私もアナウンサーになりたいです。

- ・TV ニュースに必要なこと、速報性・正確性・公平性・公共性を学べたので良かったです。
- ・「自助」の言葉を初めて知りました。「自助」を忘れずに、これからもがんばります。
- ・本当かどうかの判断が大事だという、これから気を付けていくことを学べてよかった。